

VSC説明図
前・後輪の横滑りを検知すると、各車輪のブレーキやエンジン出力を制御し車両の安定性を確保。

■アクティブセーフティ

VSC (ビークル・スタビリティ・コントロール)

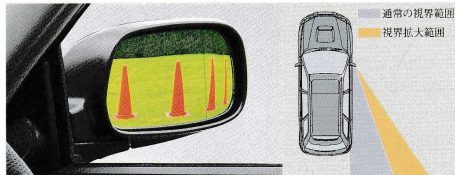
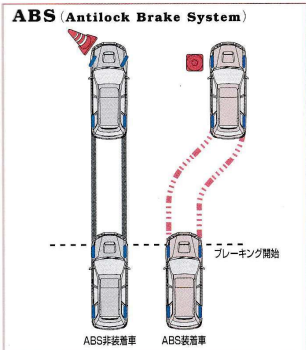
旋回時や障害物を回避するために急激なハンドル操作をした場合などに発生する、前後輪がグリップの限界を超えて滑り出しそうな状態を車両の各部に設置したセンサーが感知。自動的に4輪に適切なブレーキ制御とエンジン出力の制御を行ない、車両姿勢を安定させるシステムです。それまでコントロールが難しいとされてきた横方向の車両のスリップを自動制御することで、新たな予防安全の可能性を示しました。

TRC (トラクションコントロール)

日本初の4WDトラクションコントロールシステム。エンジン出力制御と同時に、全輪のブレーキを独立して制御することで、駆動輪の空転を抑え路面状況に応じた最適な駆動力を確保。雨天時など滑りやすい路面での安定した発進・加速、車両安定性の向上に貢献します。

SAFETY

スポーティな走りや
堪能することは、
刻々と変化する路面を
相手にすることに他ならない。
安全なクルージングのための、
先進のメカニズム。



運転席ワイドビュードアミラー



LEDハイマウントストップランプ

リヤフォグランプ

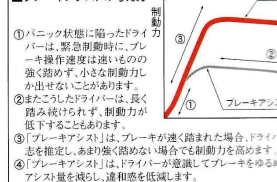
ABS (アンチロック・ブレーキ・システム)

制動時に4輪のブレーキ油圧をコンピュータで車輪のロックを防止。濡れた路面や急制動時でもタイヤのロックを防止性と操舵性を確保し、緊急回避に貢献します。

ブレーキアシスト

緊急時にブレーキを踏むと、その踏み込み量から緊急ブレーキであることを感知し、強い制動力を発生するものです。危険回避の大切なポイントである、ブレーキを踏み踏むことをアシストして(アシストが必要なときはペダルを踏み続けてください。アシストはペダルをゆるめてください。)

■ブレーキアシストの考え方



運転席ワイドビュードアミラー

右斜め後方の視界を拡大するために、運転席の鏡面を複合曲面タイプとし、時々の後方確認をより的確に行なえます。さらに、雨天時などのミラーの曇りを素早く除去できるヒーター機能内蔵。後方視界の確保に貢献します。



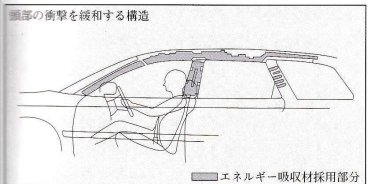
■パッシブセーフティ

GOA^{*1} (衝突安全ボディ)

万一の衝突時に乗員を保護するために、衝撃吸収ボディ & 高強度キャビン「GOA」を採用しました。これはボディの前後部をクラッシュアブリに(つぶれやすく)することで、衝突時の衝撃荷重をできる限り吸収すると同時に、ボディ骨格全体に効果的に分散させ、乗員にかかる衝撃荷重を緩和し、さらに、強固なキャビンにより生存空間を確保します。日本の安全基準や欧州の衝突安全基準はもとより、さらに厳しいトヨタ独自に設定した目標に対応できる、同排気量クラス世界トップレベルの乗員保護性能を確保しています。

頭部の衝撃を緩和する構造

万一の事故の際、その衝撃により乗員が客室と二次衝突することも考慮。フロントピラー・センターピラー内部やルーフサイドレールに衝撃を緩和する構造や素材を採用し、頭部などへの衝撃を軽減します。



- *1. Global Outstanding Assessment: 世界トップレベルの安全性評価という意味。
- *2. SRS [乗員保護補助装置]: Supplemental Restraint System. チャイルドシートを助手席に装着するときは後ろ向きにしない。SRSサイドエアバッグ装着の場合は、前席には専用のシートカバー以外を取り付けず、ご注意ください。必ず取扱書をご覧ください。
- *3. プリテンショナー機構は衝突時の衝撃が強い場合は作動しません。

■アクティブセーフティ

- 安全の視点
安全走行、事故予防、事故回避 など
- クルマの役割
基本性能の確保・充実、運転視界・視認性の確保、操作しやすい運転空間、燃費、ストレスの少ない空間、使用安全性の確保、緊急回避運動性能の確保 など
- クルマの進化の場合
- ABS・VSC・TRC●ブレーキアシスト●「トウルセン」LSD●マルチフレクターフロントフォグランプ●リヤフォグランプ●運転席ワイドビュードアミラー●ハイマウントストップランプ●リヤワイパー●チャイルドステアリング●オートエアコン●4WDシステム●フロントウインドワッシャー ● など

デュアルSRS^{*2}エアバッグ & SRS^{*2}サイドエアバッグ

デュアルSRSエアバッグは万一の衝突の際、前方からの強い衝撃に対して作動し、シートベルトの動きと合わせて、運転席・助手席乗員の頭や胸の重大な傷害を軽減します。また、SRSサイドエアバッグは、側面衝突時の強い衝撃に対して作動し、前席乗員の胸部などの傷害を軽減するシステムです。SRSサイドエアバッグはシート背もたれ側面に内蔵されているので、乗員のシートポジションに影響されことなく効果を得ることが出来ます。SRSエアバッグは、シートベルトを補助する装置です。必ずシートベルトをご着用ください。なおSRSエアバッグは衝突時の衝撃が弱い場合は作動しません。

プリテンショナー^{*3} & フォースリミッター付シートベルト

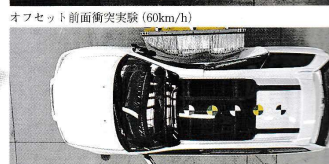
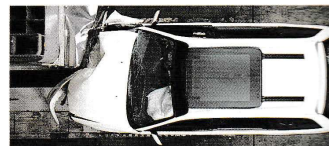
前席には前面衝突時に衝撃を感知するとシートベルトを瞬時に巻き取り乗員の拘束効果を高めるプリテンショナー機構と、ある一定以上の荷重がかかるとその荷重を維持することによって胸部への衝撃を緩和するフォースリミッター機構を採用しています。

リヤELR付3点式シートベルト

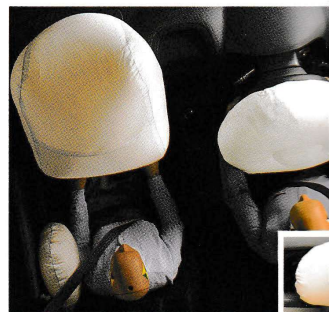
後席すべてにチャイルドシート固定機構付のELR付3点式シートベルトを採用しました。

リヤシートバック・シートロック・ヒンジの強化

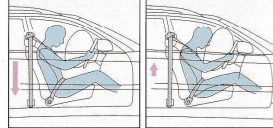
万一の際の積み荷の移動に配慮するために、リヤシートバックに強化フレームを組み込み、さらにシートロック部・ヒンジの強化も図っています。



側面衝突実験 (50km/h) ※写真はいずれも実験用の試作車



デュアルSRSエアバッグ & SRSサイドエアバッグ
■写真は機能説明のためにすべてのSRSエアバッグが作動した状態を再現したSRSサイドエアバッグは、実際の衝突時には衝突側のみ膨らみます。



プリテンショナー機構 フォースリミッター機構



リヤELR付3点式シートベルト

■パッシブセーフティ

- 安全の視点
乗員保護、乗員救護、歩行者等の保護 など
クルマの役割
安全な客室空間の確保、乗員保護システム、乗員救出の容易性、接触時の衝撃緩和 など
- クルマの進化の場合
- GOA (衝突安全ボディ) ●サイドドアビーム●デュアルSRSエアバッグ (運転席・助手席SRSエアバッグ) ●SRSサイドエアバッグ●全席ELR付3点式シートベルト (前席プリテンショナー & フォースリミッター付) ●チャイルドシート固定機構付 ●運転席シートベルト非着用警告灯 (点滅式) ●助手席シートベルト (点滅式) (着座センサー付) ●頭部の衝撃を緩和する構造 ●リヤヘッドレスト (左・右・中央席) など

■装備類の詳細な設定につきましては、巻末の主要装備一覧表でご確認ください。